



児童自ら学びを深める算数科授業の創造～一斉授業を軸とした協働的な学びや個別(最適)な学びの取組を通して～

「挑戦と創造」 学び深く 志高く 未来を拓く

研修だより

令和8年6月25日
世羅町立せらびがし小学校
No.8

令和8年度1学期 「きらりノート」を紹介！

各学年の子どもたちが、「思考の軌跡を残す」ノートづくりに取り組んでいます。

～研修だより No.2 より～

今年度のノート指導のキーワード

ノートを「黒板を写すもの」から「問題解決のために試行錯誤し、思考の軌跡を残すもの」へと位置付けを変える。

つまり、児童が ①個別の時間において、自分の考え

②協働の時間において、自分にはなかったもの（考え・表現方法）

をノートに自分から表現する。

1学期の「きらりノート」を各学年で子どもたちに紹介し、よりよいノートづくりを目指していきましょう。

1年生

5が 20にちんくうひ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

②

4ほん
あります

ていねいなじでかいていますね。

4 + 3 = 7

しき
こたえ

2年生

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 + - =

①

しき 49 - 18 = 29

なぜ「1くり下げる」のかを言わせて説明すると、計算のしかたがよく分かりますね。

49 - 18 = 29

3年生

わり算

①

自分にはなかったものや大切なことを書いていますね。

12 ÷ 3 = 4

20 ÷ 5 = 4

4年生

わり算のしかたを思い出そう

①

図と式を関連付けて説明していますね。

60 ÷ 3 = 20

90 ÷ 3 = 30

5年生

見通しを持って気付いたことを
ふきだしに書いて書き残していますね。

式 $1m \times 23m = 23m^2$
(80円) (m)

6年生

思考する中での気付きを
吹き出しに書き残していますね。

求め方を順序だてて説明し、より分かりやすくするために
気付きを吹き出しに書いていますね。

すずらん

ていねいなじでかいていますね。

ひまわりA

自分で分かりやすいように考えていますね。

ひまわりB

前の学習で分かったことを生かして、新しい考えを導き出していますね。

根気強く、最後まで取り組んでいますね。

職員室前の廊下に掲示しています！

